

千葉県小中体連剣道専門部 申し合わせ事項

【日常の指導に関わる事項】

1 礼法・マナーの徹底

- (1) 立礼の位置、団体試合の礼、試合開始時、終了時の所作を正確・丁寧に行う。
- (2) 団体戦のチームの入れ替え
 - ① 先鋒戦の開始は、選手全員が座るのを待たず、監督が座った時点で開始する。
 - ② 次の試合の学校は、前試合が終了後、前試合の選手が整列すると同時に整列をする。その際に面・小手・竹刀は次の試合の待機場所に置いたままにし、礼が終わったあと、面・小手・竹刀を移動させる。

2 防具の着装の徹底および望ましい服装

【剣道試合・審判規則に関わる事項】

1 足袋、サポーター、テーピングについて

- (1) 医療上必要と認められた場合に限り使用を認める。使用する場合は、所定の届け出用紙に記入の上、監督はサポーターなどを使用する選手を連れて、審判副主任に届け出をし許可を得る。
- (2) テーピングの色は白色またはベージュとする。

2 剣道具について

- (1) 不正用具とは、規則第4条に規定する剣道具以外のものをいう。なお、細則第3条第2号から第4号および同第3条の2の基準に合致しない剣道具または剣道着は不正用具としない。この場合、試合終了後に審判主任から注意を与える。
- (2) アイガード及びポリカーボネート積層板装着面の使用を認める。
- (3) 面ひもについて
 - 縛る位置が高く頻繁に外れる場合は、3回を目安に反則を取る場合もある。

3 竹刀について

- (1) 化学繊維竹刀の使用を認める。
- (2) 竹刀計量により不合格となった竹刀は、アリーナ内に持ち込まない。
- (3) 弦の色は、白・黄・紫とする。

4 つばについて

- (1) 革色のもの（白色も可）を使用する。それ以外のものを使用している場合は、その場で、つばあるいは竹刀全部を取り替えさせる。ただし、竹刀は検査に合格したものでなければならない。

5 「変形な構え」について

- (1) 左拳を概ね目線より上にして、面・右小手・右胴を同時に防御する形をいう。
- (2) 「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合は、1回目は「合議」の上、「指導」とし2回目以降は「合議」の上、「反則」とする。
- (3) 「変形な構え等の防御姿勢」の場合でも、故意に時間を空費したり、公正を害す

る行為にあたる場合などは、1回目から「合議」の上、「反則」とする。

7 負傷または事故について

◇ 負傷または事故などにより試合が継続できない場合は、次の要領で処置する。

- (1) 医師が現場に到着してから治療の可否判断をするまでの時間を5分以内とする。
 - ① 治療可能と判断した場合は、治療にかかわる時間は治療に必要な時間とする。
 - ② 試合続行不可能と判断した場合は、試合不能者は棄権者となる。
- (2) 医師の処置の状況により、審判主任の判断で相手選手の対応をする。監督からの指導は認めない。審判員についても試合者に準ずる。
- (3) 負傷により試合が継続できない場合は、その原因を起こした者を負けとし、その原因が明瞭でない場合は、試合不能者を負けとする。
- (4) 負傷または事故者として処理された者は、状況によりその後の試合に出場することができる。
- (5) 加害者として負けとされた者は、その後の試合に出場することができない。

8 確認事項について

- (2) 勝ち上げる、振り倒す、突き放す、相手の面部(面金を含む)に柄をぶつける
拳で殴るなど、危険な行為、見苦しい暴力的行為「合議」→「反則」

9 その他

- (1) 試合開始時や選手交替の際の余計な所作(こぶし合わせや背中タッチなど)、円陣などは行わない。
- (2) 礼法については正しく行わせる。できない場合にはやり直しさせる。
- (3) 代表者戦について
 - ① 任意の選手とは補員を含めた7名の選手から選出
 - ② 監督 → 審判主任(ここで確定)
- (4) 中止要請について
 - 主審の方を向き手を上げるとともに、声(タイム)を発して中止を要請する。
- (5) 応援は拍手のみとし、監督席や観客席から選手への声援、指示は行わない。
- (6) 試合後に監督の前に座っての指導は行わない。
- (7) 反則に対する拍手などはしない。

【試合運営に関わる事項】

- 1 試合場に入場できるのは、役員・審判員・監督・選手・補助役員・登録された外部指導者部活動指導員とする。
- 2 男女同一校・同一監督で試合が重なる場合
 - (1) 決勝戦は同時には行わない。
 - (2) 決勝戦以外は、各支部長の責任において、代理を立てることができる。
- 3 アリーナ内へは折り鶴や装飾品などは持ち込まない。
- 4 会場内へは応援旗・激励旗などは持ち込まない。
- 5 試合場付近に時計、ストップウォッチなどは持ち込まない。
- 6 審判割り振り表は大会当日に配付する。